

タキノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキノミー）

科目名 初等教科教育法（理科）（ 2022年 12月 5日作成）

氏名 横山隆光 No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
第1・2講 学習指導要領と理科教育の変遷	学習指導要領と理科教育の用語の定義ができる。	三つの柱と理科との関係を説明することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	昭和22年以降の社会情勢と学習指導要領、および、理科教育の変遷について整理し、育成すべき資質・能力について説明できる。	学習指導要領と理科教育の変遷を整理し、現状の理科教育について判断できる。	小・中学校9年間の系統性、子供の実態を踏まえて指導計画を作成することができる。
第3・4講 国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査	国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査の用語の定義ができる。	国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査について説明することができる。	国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査と学習指導要領との関係をつかむことができる。	国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査結果を踏まえた施策、および、GIGAスクール構想の関係性を説明できる。	昭和22年以降の社会情勢と学習指導要領、および、理科教育の変遷と国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査結果との関係を判断できる。	国際数学・理科教育動向調査と学習到達度調査について整理し、GIGAスクール構想における個別最適化された学びの学習指導計画を作成できる。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>第5・6・7・8講 学習指導要領に示された理科</p>	<p>学習指導要領に示された理科の各学年の内容を想起できる。</p>	<p>学習指導要領に基づいた評価について説明することができる。</p>	<p>教科の専門性を踏まえて、一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。</p>	<p>評価計画に沿って一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。</p>	<p>「中央教育審議会4.理科」の内容を理解し、「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順を理解し、評価基準を作成することができる。</p>	<p>小学校理科の一つの単元を取り上げて、評価計画を作成できる。</p>
<p>第9・10講 観察・実験</p>	<p>観察・実験の重視について理解し、安全な観察・実験の指導について想起できる。</p>	<p>観察・実験の重視について整理し、説明することができる。</p>	<p>安全な観察・実験の指導について、小学校理科の一つの単元を取り上げて指導ができる。</p>	<p>観察・実験における事故防止・安全指導の重要性と指導、事故が起きたときの緊急対応について説明できる。</p>	<p>観察・実験に関して、評価計画に沿って子供一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。</p>	<p>観察・実験に関して、適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。</p>
<p>第11・12講 教科書と学習指導</p>	<p>教科書の活用と理科授業の改善について理解し、教材研究の手順と問題(課題)づくりの具体についてイメージできる。</p>	<p>教科書の活用と理科授業の改善について説明することができる。</p>	<p>教科の指導内容を適切に理解し、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。</p>	<p>教科書、および、デジタル教科書の活用方法について理解し、教材研究の手順を理解し、予備実験の重要性、問題(課題)づくりの工夫などから理科の</p>	<p>教科書を活用し、評価計画に沿って子供一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。</p>	<p>教科書を活用し、適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

				授業の改善について考えることができる。		
第 13 講 教科書を活用した授業	教科書を使った授業について理解でき、想起できる。	教科書を使った理科授業について説明することができる。	教材研究を活かして、小学校理科 3 年「磁石の性質」単元の学習指導案を作成することができる。	小学校理科 3 年「磁石の性質」単元を取り上げて、発話から指導言の分析ができる。	小学校理科 3 年「磁石の性質」単元を取り上げて、模擬授業を実施し、評価規準・評価基準を設定して評価できる。	小学校理科 3 年「磁石の性質」単元を取り上げて、適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。
第 14・15 講 ICT の活用	ICT を活用した小学校理科について想起できる。	GIGA スクール構想で整備された情報機器の活用方法として、理科授業における情報収集、整理、保管、表現、提示、交流などでの利活用について説明することができる。	個別最適化された学習におけるデジタル教材、ドローン、遠隔協働学習、拡大画像、メタバースの活用について知り、理科の授業に活用しようとする。	小学校理科での効果的な ICT 活用について分析できる。	情報収集、整理、保管、表現、提示、交流などでの ICT の活用の効果について分析できる。	理科での ICT の活用について、適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。